

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

Table with 4 columns: 団体名, 担当者部署, 担当者役職, 住所. Values include 大阪市役所, ICT戦略室, 係員, 530-8201 大阪府大阪市北区中之島1-3-20.

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

Table with 2 columns: アドバイザー, 評価. Includes reasons for evaluation and specific requests.

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

Table with 6 columns: 活動, 派遣日, 開始時刻, 終了時刻, 内休憩時間(分), 活動時間(分). Includes activity details for 2021年12月2日.

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

Table with 2 columns: 掲載許可, 〇掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

Table with 2 columns: 支援を受けた対象者, 事業の課題・問題点, 支援により目指す成果, アドバイザーに支援を受けた内容, 支援を受け改善又は解決された内容, 具体的な成果物, 改善又は解決されなかった内容. Includes detailed descriptions of support and outcomes.

| | | |
|---------------|--|------|
| アンケートの内容と分析結果 | <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>多くの受講者がDXを進めていく必要性を理解し、具体的に自所属内の課題に照らし合わせて考えることができている受講生もいたことから、DXに向けたマインドの醸成は一定の効果があったと考えられる。一方で、市民を直接相手とする区役所等はハードルの高さやシレンマがあるという意見も見られたため、それらのギャップをどう埋めていくかが今後の課題である。 ※アンケート内容の詳細については「別紙2_令和3年度区長及び局長級職員向けICT研修アンケート結果について」を参照してください。</p> | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものリストより選択下さい | ⑤その他 |
| 事業の最終的な目指す姿 | 区長及び局長級職員におけるICTリテラシー向上とDXに対する意識醸成の研修ができたので、本事業については完了した。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

1 管理職は、DXに如何に臨むべきか？

(1) DXに関する知識やスキルを身につける

- ・ 他自治体、企業の先進事例について、ネットやマスコミのニュース等を継続的にチェックし、情報収集する。
- ・ どのような課題を、どういう技術を導入し、どのように解決したのかを学ぶ。
- ・ 技術の詳細には拘らない。(若手や専門家に任せる)
- ・ 調べたことは、職場で共有、話題とする。
- ・ デジタルでのコミュニケーション方法に慣れる。
→ ウェブ会議、メール、チャットなど



Copyright 2021 Satomi Hirokawa 41

1 経営層の役割

- (1) 明確なビジョンを描き、分かりやすく示す
担当分野のDXのビジョンを、可能な限り具体的にイメージし、共有する。
- (2) 俯瞰的視点で状況把握し、全体最適の答を出す
関係分野、さらに市全体を俯瞰し、最適解を導く。
- (3) 組織と組織、人と人を繋ぐ
DXには、多様な主体の連携協働が不可欠。繋ぐのは経営層の仕事。
- (4) 変化を見通し、先手を打つ
市民ニーズの変化、課題を取り巻く状況の変化、技術の刷新等の予兆を見極め、対応策を事前に準備する。
- (5) 現場の視点を忘れない
市民の実体験を聴く。現場の職員の感覚を大事にする。



48